

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区

ガバナー 平原 祥彰



朝夕は少し寒い日が続くようになってまいりました。皆様お元気でロータリー活動にお励みのことと存じます。

各クラブの皆さんに温かく迎えていただいて楽しく公式訪問を続けてまいりました。阪南 RC1 クラブを残して、すべて予定どおり終了することになると思います。会員数が少なくても十分クラブ活動が行えているクラブや、かつての会員数が半減して運営に苦労しているクラブ等様々あることが分かりました。特に会員数が半減したクラブでは財政面や、役員選出に苦慮しているように感じました。

各クラブ共に会員数を増やしたいと強く願っております。

2640 地区では、従来のテリトリーの中に複数のクラブが存在する特色があります。その為、会員増強についてクラブ間の競合の問題が話題になりました。

クラブの運営、会費、特色ある活動など様々な独自性、多様性を創造して行くことが望まれると思います。クラブはサイズではなく活動の内容が大切であるとの想いを強くいたしました。

“ノー”と云う会員がいない。

観客席に座っている会員はいない。

“やらされている”会員はいない。

つまり会員全員がロータリーを納得している、こんなクラブを目指すべきだと思います。その為にはオリエンテーション、インフォーマルミーティング、クラブフォーラム、クラブ協議会等々、クラブのリーダーは会員の理解のすすみ具合をみながら回数を重ねていただきたい。

我々に近道はないと思います。

公式訪問を通じて、明らかになった諸問題について、今後ガバナー補佐を中心としてグループ協議会で充分議論をして、出来るところから“クラブ活性化”のため努力をして行きたいと思っています。

12月 は家族月間です。我々の将来のことを考えると、今ロータリーに入会したばかりの若い会員は、子育て、仕事と家庭の両立、ロータリー活動と日々奮闘しております。

毎日大変忙しいのです。ロータリーの一部として自分の家族も受入れてほしいとの強い希望から強調事項に加えられたと云われております。メンバーと家族が参加して、親睦、友好、奉仕活動をすすめることが望まれています。若いメンバーには、大きく育ててほしいと願っています。

インターアクト、ローターアクト、RYLA、GSE、青少年交換、その他数多くの青少年のためのプログラムの重要性をしっかりと理解し、青少年の生活力を高めること、将来への準備を整えることに積極的に手を貸すべきではないでしょうか。健康増進、教育振興、自己啓発等々、ロータリアンとして彼らの模範となるべき事を自覚して共に努力してまいりましょう。